



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/37号 2021/7/30

◆Science Colloquium for All Nagasaki

7月5日（月）、Science Colloquium for All Nagasakiを開催しました。これは互いの研究成果を持ち寄り、発表や情報交換を行うことで新たな視点を獲得するとともに、広く発信することで、県全体の生徒研究の活性化を目的としたものです。

第1回目の今回は、本校理科部生徒の呼びかけに、宇久高校、佐世保北高校の生徒の皆さんが応える形で実現しました。初めての企画ということで緊張した様子でしたが、互いの発表を聞き、質疑応答や意見交換を行うことで、それぞれが改善のためのヒントをつかむことができました。

司会を務めた河原さん（本校理科部3年）は、「とても緊張しましたが、他校の生徒の発表を聞けたり、相互に質問ができて大変勉強になった」という感想を話してくれました。



◆2年数理探究科:地学研修講座

7月26日（月）、数理探究科2年生を対象に九州大学共創学部より足立 達朗 先生をお招きし、地学研修講座を開催しました。

足立先生は、岩石学、地質学を専門とされており、南極や中央アジアなどを調査対象として、大陸の形成・成長過程や大陸衝突域における変動現象を解明する研究に従事されています。今回は、岩石についての基本的事項から、プレートテクトニクス、グランドキャニオンの形成過程などを講義していただきました。さらに、40.2億年前に形成された地球最古の岩石も持参いただき、直接手で触るなど、他では決してできない貴重な体験をすることができました。今回の講座を通じて、生徒の地学現象についての興味関心は大いに高まりました。



◆SSH 科学研究・3年生課題探究発表会

7月17日（土）、理科部の生徒が取り組んできた科学研究と3年生がSS探究として授業で取り組んできた課題探究の発表会を開催しました。午前中はポスター発表を、午後からは運営指導委員や外部の方を招いての口頭発表を行いました。大村市内の中学生とその保護者の皆様にも40名近くの参加を頂きました。おかげさまで、理科部生徒、一般生徒ともしっかりと自分たちの研究・探究の成果を内外に伝えることができました。ありがとうございました。

感染症対策や熱中症対策のため、ポスター発表は本校と大村市コミュニティセンターでの分散開催となりました。口頭発表については、全校生徒がホールに入ることが不可能なため、対面での参観と会場と学校（24教室）をZoomで結ぶオンラインでの参観というハイブリッド方式を採用しました。本校としては、このような大規模なオンライン配信は初めての経験で、「接続は途切れないのか」「音声や画像は問題なく届くのか」などさまざまな不安がありましたが、会場スタッフの方々をはじめ、皆様のご協力のおかげでスムーズに実施することができました。

【口頭発表】

	タイトル	発表者
1	ジェンダー平等を実現するために	栗田 柚葉、池田 野乃花 塩田 桜子
2	ダニエル電池の起電力増加のための最高濃度比について	田中 偉吹、野林 蓮
3	大村湾 小さな貝の物語	河原 正堂、太田 誠也
4	落ち葉に宇宙の神秘を見る	本村 かな



【写真】ポスター発表のようすと口頭発表のようす（下段右）